

平和憲法・9条をまもる 岩手の会 ニュース No.133

2016.11.4

発行：平和憲法・9条をまもる

岩手の会 実務者会議

連絡先 県生協連・県消団連

TEL019-684-2225

FAX019-684-2227

「2000万署名岩手の会」あらため 「戦争させない・9条壊すな！岩手の会」発足！

9月30日、「戦争法の廃止を求める全国2000万人統一署名運動を推進する岩手の会」（略称：2000万署名岩手の会）の総括集会を行いました。

はじめに、ミニ学習として、上山信一弁護士より「参議院選挙後の情勢と今後の運動」と題し、参議院選挙後の安保関連法・憲法をめぐる動きや緊急事態条項の危険性、今後の課題についてお話いただきました。今後の課題について上山弁護士は「安保法制の実動の阻止」「明文改憲の阻止」を挙げ、自分のことから取り組み、いざ国民投票になったときに改憲を許さないようにしようと呼びかけました。

次にこの間の取り組みの報告と今後の運動について幹事団体から提案されました。

署名数は192,804筆となったこと（その後、最終数値193,194筆）が報告されました。そして、この会は統一署名の推進を一致点としたゆるやかなネットワーク組織であり署名提出をもって9月30日で解散すること、しかし幅広い県民が参加する運動をつくり共同の取り組みを継続するために名称を変えてネットワークを引き

き継ぐこと、幹事団体4団体は継続し毎月19日行動は幹事団体持ち回りで企画し継続すること、日常的には各団体がそれぞれの運動を行うことが提案され、「戦争させない・9条壊すな！岩手の会」が発足しました。

10月19日には最初の19日行動として盛岡夕方デモが行われ、約80人が参加しました。「南スーダン派遣反対」「戦争法ゼッタイ廃止」など思い思いのプラカードや旗、横断幕を持って市民にアピールしました。



原発も基地もいらない！戦争を許さない声を広げよう ～釜石地域平和大会

10月8日、第12回釜石地域平和大会が開かれ、市民や会員など約40人が参加しました。

戦争への危機感が強く漂う中、原水禁世界大会や空襲を記録する会仙台大会の報告がありました。釜石・大槌9条の会からは、戦争法廃止を求め釜石駅前でのスタンディング行動を行った経験が報告され、さらに思想・信条を超え多くの人を結集する取り組みをしようと呼びかけました。

岩手県平和委員会会長代行の菅野宗二さんが「日本を戦争する国にさせない」と題し公演。今の状況が戦後のアメリカとの関係ですでに形成されていたこと、打開する方法として市民の行動が重要なことなどがわかりやすく伝えられました。

「戦争させない」「9条守れ」の声を発信し続ける内容の大会アピールを確認しました。（釜石・大槌9条の会 金崎安子）



平和を学ぶバスツアー



～ 城東地区 9 条の会

城東地区 9 条の会は 10 月 22 日、盛岡医療生協天神支部と共催で「雲上の楽園都市松尾鉱山を学ぶ」バスツアーを 25 名の参加で実施しました。

絶好の秋晴れの下、最初は八幡平のふもとにある産直を訪れ、品物が無くなる前に野菜やリンゴ、キノコなどを仕入れました。

次はアスピーテラインを登り、松尾鉱山跡地に向かいました。この辺は丁度紅葉が盛りで、「きれいだね」を連発しながら進みました。現地には 4 階建て鉄筋コンクリート造りのアパートが廃墟となって 10 棟ぐらい建っていました。このアパートは全棟セントラルヒーティングや水洗トイレが完備されていたといいます。当時としては最先端の文化住宅でした。少し下ると单身寮「至誠寮」があります。主に管理職の方が住んでいました。この建物は二代目で、初代は木造二階建てでしたが、昭和 20 年 8 月 9 日の米軍機の爆撃により 14 名の命と共に焼け落ちてしまいました。幹部が居住する建物を狙ったのではないかとされています。こんな山奥にも戦争の傷跡があることを知りました。

その後、八幡平市松尾鉱山資料館（無料）を見学し、大急ぎで「八幡平ハイツ」に移動。一番前に並んで「ランチバイキング」にありつきました。品数も豊富で十分満足しました。今回の狙いはここにあったという人もありました（笑）

「あまり知られていない地元の遺構が見られてよかった」「こんな所にも戦争の犠牲者がいたことを知った」「毎年戦争遺跡を訪ねる企画があるようなので次も参加したい」などの感想が寄せられました。



（城東地区 9 条の会 小松勝治）



旭日旗を掲げて、「新任務への準備を急ぐよう」指示、そして「精強なる自衛隊をつくり上げてほしい」と述べるのは、「戦前」さながら！

安倍首相は 10 月 23 日、旭日旗が掲げられる自衛隊の朝霞訓練場での観閲式で「安保法制」に基づく「新任務への準備を急ぐよう」指示するとともに、「平和の守り神として精強なる自衛隊をつくり上げてほしい」と述べたとのこと…

この光景は戦前の日本の軍隊の出陣の光景さながらではないでしょうか。「戦後レジームからの脱却」「戦前回歸」を目指す安倍首相の本当の姿が「軍備の増強」「戦争による国際問題の解決」として、くっきりと表れていると思います。

しかも、11 月中旬には「新任務を付与した自衛隊 11 次隊の南スーダン派遣」を閣議決定すること。新任務を付与させない、新たな自衛隊派遣反対、既派遣の自衛隊の引き上げを求めることは急務です。そして、紛争の平和解決のため和平交渉の提案、東京での和平交渉のテーブルの設置・提供など、日本国憲法に基づく非戦平和外交を展開することが、我が「平和国家日本」の「国際貢献」です。「軍事」による「国際問題」の解決は他国にも被害と迷惑を及ぼすものであることを、今こそ声を大に叫ぶことが求められます。(T)

今月の署名行動

今月は、9 日(水) 12:30～13:00 「野村證券前」です。
寒くなって来ましたが、9 条改正を狙う安倍政権に、憲法守れ！立憲主義守れ！の声をあげましょう！